

業績ハイライト

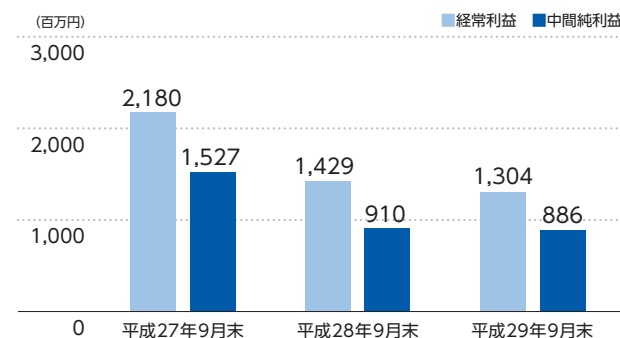
平成29年度中間期の決算は、資金運用収益の減少などによって減収減益となりましたが、預金残高及び貸出金残高は中間期として過去最高を更新するなど、業容は順調に推移しました。

また、自己資本比率は9.76%と国内基準で必要とされている4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.24%に低下し、安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

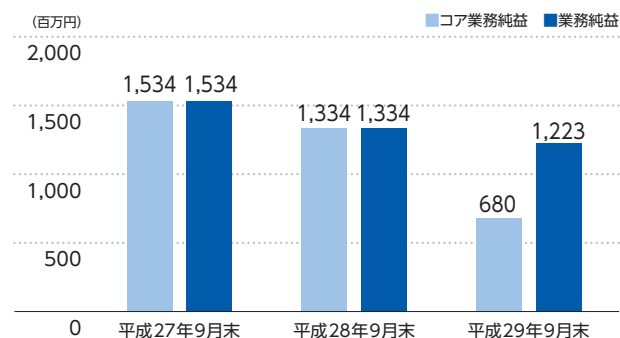
用語解説 コア業務純益

コア業務純益とは、一般企業の営業利益に相当する業務純益から、国債等債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額など一時的な変動要因を控除したもので、金融機関の本来業務から得られる利益となります。

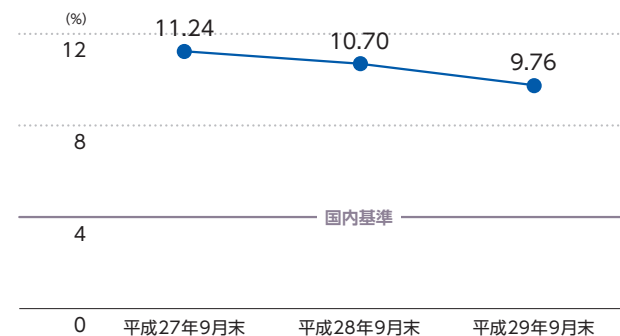
経常利益／中間純利益(単体)



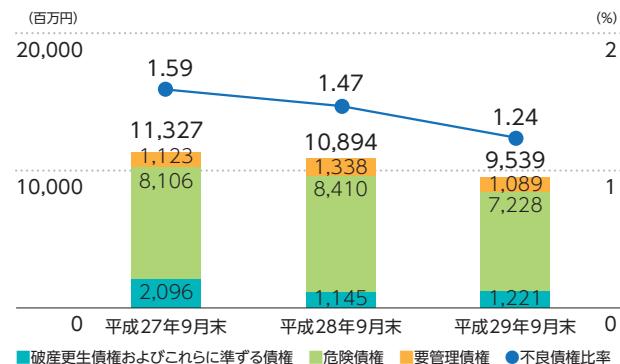
コア業務純益／業務純益



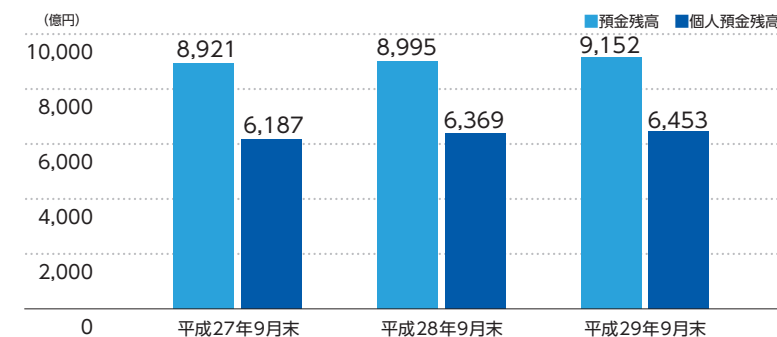
自己資本比率(単体) バゼルⅢ基準



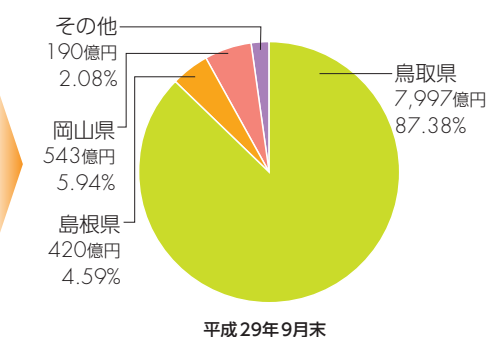
不良債権の状況(単体)【金融再生法ベース】



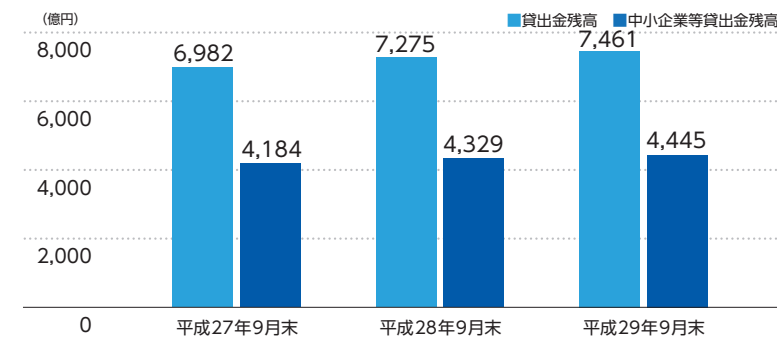
預金残高(単体)



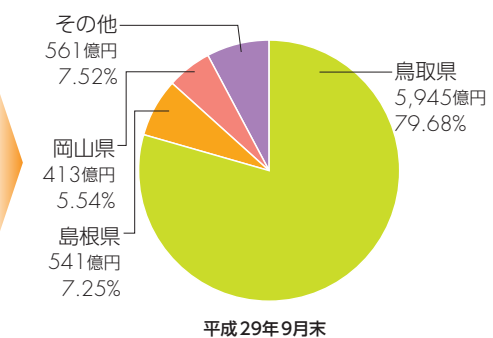
地域別預金残高



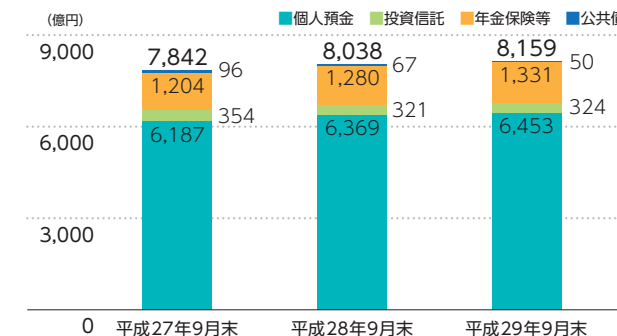
貸出金残高(単体)



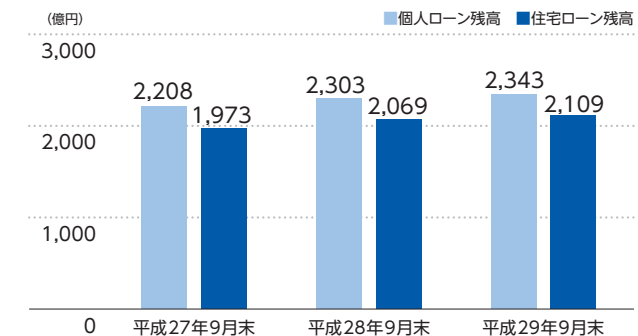
地域別貸出金残高



個人預かり資産残高(単体)



個人ローン残高(単体)



中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年9月30日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	69,378	57,082
有価証券	154,831	152,894
貸出金	727,580	746,171
外国為替	622	382
その他資産	11,682	12,275
有形固定資産	11,767	11,681
無形固定資産	877	585
前払年金費用	2,916	3,447
繰延税金資産	1,290	1,954
支払承諾見返	3,797	7,249
貸倒引当金	△2,853	△3,109
投資損失引当金	△14	△14
資産の部合計	981,877	990,600
負債の部		
預金	899,569	915,209
コールマネー	58	59
借入金	14,522	12,400
外国為替	0	6
社債	5,000	—
その他負債	7,788	4,830
賞与引当金	461	455
退職給付引当金	1,499	1,545
偶発損失引当金	273	253
睡眠預金払戻損失引当金	39	39
再評価に係る繰延税金負債	631	631
支払承諾	3,797	7,249
負債の部合計	933,642	942,680
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	28,922	29,631
自己株式	△670	△672
株主資本合計	43,766	44,472
その他有価証券評価差額金	3,410	2,388
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	1,058	1,058
評価・換算差額等合計	4,469	3,447
純資産の部合計	48,235	47,919
負債及び純資産の部合計	981,877	990,600

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで)
経常収益	8,294	7,688
経常費用	6,865	6,383
経常利益	1,429	1,304
特別損失	8	7
税引前中間純利益	1,420	1,297
法人税、住民税及び事業税	355	186
法人税等調整額	154	223
法人税等合計	510	410
中間純利益	910	886

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要(平成29年9月30日現在)

本店所在地	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	大正10年12月15日
創 立	昭和24年10月1日
資 本 金	90億円
店 舗 数	66カ店：県内54カ店、県外12カ店 (その他1代理店、1事務所)
従 業 員 数	739人
総 資 産	9,906億円
預 金	9,152億円
貸 出 金	7,461億円



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年9月30日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	69,378	57,082
有価証券	154,980	153,087
貸出金	727,080	745,626
外国為替	622	382
劣後受益権	9,598	7,697
その他資産	3,320	5,906
有形固定資産	11,767	11,681
無形固定資産	878	586
退職給付に係る資産	5,670	6,455
繰延税金資産	457	1,035
支払承諾見返	3,797	7,249
貸倒引当金	△2,928	△3,187
投資損失引当金	△14	△14
資産の部合計	984,609	993,590
負債の部		
預金	899,558	915,195
コールマネー及び売渡手形	58	59
借入金	14,522	12,400
外国為替	0	6
社債	5,000	—
その他負債	8,205	5,278
賞与引当金	464	459
退職給付に係る負債	1,657	1,685
偶発損失引当金	273	253
睡眠預金払戻損失引当金	39	39
販売促進引当金	21	24
再評価に係る繰延税金負債	631	631
支払承諾	3,797	7,249
負債の部合計	934,230	943,282
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	29,117	29,841
自己株式	△670	△673
株主資本合計	43,960	44,682
その他有価証券評価差額金	3,469	2,483
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	1,058	1,058
退職給付に係る調整累計額	1,811	2,000
その他の包括利益累計額合計	6,339	5,542
非支配株主持分	78	82
純資産の部合計	50,378	50,307
負債及び純資産の部合計	984,609	993,590

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで)
経常収益	8,478	7,863
経常費用	7,045	6,552
経常利益	1,432	1,310
特別損失	8	7
税金等調整前中間純利益	1,424	1,303
法人税、住民税及び事業税	356	187
法人税等調整額	155	224
法人税等合計	511	411
中間純利益	912	891
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	913	890

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙

これなあに？

いんしやうわし
因州和紙(鳥取市)



和紙として日本で初めて伝統的工芸品に指定

因州和紙は、因幡の国(鳥取県東部の旧国名)で生産される手すき和紙の総称で、古いものでは、8世紀前半奈良時代のものが確認されています。

江戸時代には、藩の御用紙や庶民の使う紙として盛んに生産され、明治時代からは他県との技術交流が行われるようになり、生産が飛躍的に拡大しました。昭和に入ってから洋紙の生産力が向上し、日用品需要が徐々に低迷してきましたが、書道や工芸に用いる画仙紙や工芸紙に力を注ぎ、現在では画仙紙など書道用紙で全国的に高い知名度があり、和紙として日本で初めて伝統的工芸品に指定されています。

近年は、建材や照明器具のシェードのほか、民芸品に用いられる立体紙など、様々な用途で使用されています。

画像提供：株式会社中原商店(鳥取市青谷町)